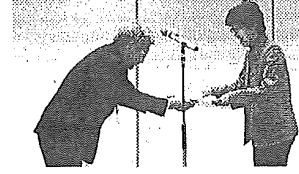


アイデア交流会 2017

九州建設協会九州支部
主催：国土交通省九州地方整備局（公社）日本技術士会九州本部



受賞した徳永さん（右）

建設コンサルタンツ協会九州支部（福島宏治支部長）は9日、福岡市の天神スカイホ

市民のまちづくり具現化

夢アイデア交流会

九州建設協会

ールで「夢アイデア交流会2017」を開いた。ことしは応募作品36点の中から最優秀賞に徳永佳子さんの「いつまでも自宅で元気に暮らすために、便器のないトイレ!」を選んだ。

夢アイデア募集は今回で15回目を迎え、累計700点余りの応募が寄せられている。今回も若者男女問わず幅広い世代からの応募があり、当日は1次審査を通過した10組がプレ

ゼンテーションを実施した。あいさつした福島支部長は、「夢アイデアは人材育成や市民の発想による市民のまちづくりを具現化するために始めたもの。今回は共感や多様性への理解がテーマとなった。さまざまなアイデアを聞いて楽しい時間を過ごしてほしい」と呼び掛けた。

最優秀賞となった徳永さんは、加齢に伴う衰えや病気により自力での排せつが難しい人をサポートする洗浄、殺菌機能付きの全自動ビルトイントイレを提案。トイレの壁に便座を収納しておき、排せつ時に人がトイレに立つとその場所に便器が出現し、用便後に再び収納する。収納後は便器をまるごと洗浄、殺菌するためトイレ内を清潔にできる。

講評で玉川孝道審査委員長は、「今回は留学生が参加するなど広がりや深みがある交流会となった。受賞作品は夢が夢想ではなく、日々の生活で実感する課題が元になっている。特に最優秀の作品は介護する人とされる人の両方の立場に立ち、あったらいいなという夢に行き着いた」と好評した。

このほか17年度の夢アイデア提案受賞作品と提案者は次のとおり

- （敬称略）
- ＜優秀賞＞
- ▽お国自慢交流会を、老人会の方々に対象に開催する（歌野園）
- ▽ちくごプラージュ（國武のぶ子）
- ＜佳作＞
- ▽地域ケーブルテレビのさらなる発展（清水奨伍）
- ▽ふるさとドローン（介護施設老人の為の活き活きふるさと映像提供仕組みづくり）
- ▽（堀一裕）
- ▽自転車のまち福岡で歩行者天国ならぬ「自転車天国」の実施（岡村宗一郎）
- ▽Kids Global Park（Houda Laarous）
- ▽ぷらんど*ぷらんとく天空のHATAKE再生計画（高田祥平、友末佑太）
- ▽3DスキャンとIT技術を使った鎮守の森体感ネットワーク&保全のための普請推進プロジェクト（宮川央輝）
- ▽母親と子供の「超懸いの場」（緒方祥之、園田裕子）